
第5章 感情次元における色彩と香りの調和性

第2章において、色彩、香り各々の感情次元を抽出すると共に、色彩、香りの双方から調和性を検討し、比較的安定した結果を得た。すなわち、色彩、香りの感情次元は比較的近似しており、類似の感情効果を持つ色彩と香りの調和性は高かった。

続く第3章、第4章においては、第2章で導いた色彩と香りの調和ペア、不調和ペアを用いて、組み合わせた場合の心理的効果に関して、2種類の設定においてそれぞれ検討した。その結果、いずれの設定においても、調和関係にある色彩と香りを組み合わせた場合、各々の性質の加算的相乗効果が確認された。この結果は、第2章で導き出した色彩と香りの調和性が比較的妥当であることを示唆するものと思われる。

以上を踏まえ、本章では、色彩と香りを同次元で捉える感情次元を検討すると共に、その次元における色彩と香りの調和性に関して再考する。

【本章の目的】

- 1) 色彩と香りを同次元で捉える感情次元の再検討
- 2) 感情次元における色彩と香りの調和性の検討